

安全で信頼性、機能性が高い食品・農産物供給のための 評価・管理技術の開発

1 趣旨

農産物の国際流通が加速化され、食品成分や原産地表示等の安全・信頼性について消費者の関心が高まる中、高度な製造プロセスやチェック体制等、農場から食卓まで一貫した食の安全・信頼性の確保が求められている。また、少子高齢化や生活習慣病の増加を背景として、国民の健康に対する関心も高く、消費者からは健康に良く安全な食品・農産物が、生産者からはこれらのニーズを踏まえた高付加価値の農産物の生産について関心が高まっている。

そこで、国産農水産物の安全と信頼性の確保による需要促進と食事バランスによる健康の維持増進を目的として、安全で信頼性、機能性が高い食品・農産物供給のための評価・管理技術の開発を行う。

2 内容

(1) 食品の安全・信頼を確保するための評価・管理技術の開発

- 1) 生産現場や食品製造現場に対応したGAP（適正農業規範）等の確立に資する、新たな危害要因制御技術の確立
- 2) 原産地、生産履歴情報、品種・系統等の高度偽装防止技術システムの構築
- 3) 安全性管理の国際化に対応した標準物質の製造技術体系と精度管理システムの構築

(2) 食品・農産物の新たな機能性解析技術の開発

ニュートリゲノミクス（栄養成分応答性遺伝子解析技術）等を活用した丸ごと食品・農産物の総合的な機能性・安全性解析技術の開発

3 実施主体 独立行政法人、大学、民間

4 実施期間 平成18年度～平成22年度

5 平成18年度概算決定額 844（0）百万円

（担当課：農林水産技術会議事務局 研究開発課）